

けんきゅういん め ぜんせい せんせい ため 研究員の目 コピペ全盛、先生は試される

どくしょかんそうぶん けんさく かんそうぶん きせいひん たば
「読書感想文」をネット検索すると、感想文の既製品が束になってヒッ
トする。しょうがくせいむ ちゅうこうせいむ だいがくせいむ こま ぶんるい
トする。「小学生向け」「中高生向け」「大学生向け」ときめ細かく分類し
てあるサイトや、ていばん ぼつ らしやうもん み
定番の『坊ちゃん』『羅生門』『ころも』などがすぐ見つか
るものもある。か うつ できあ しんせつ み じ
そのまま書き写せば出来上がり。親切にも、「見つかったも自
己責任で」とけいこくぶん
警告文までついている。

がっこう ていしゆつ まるうつ き ひ せいとむ かつこ
学校に提出するのに丸写しでは気が引けるといふ生徒向けには括弧の
くうらん かくじ はっそう う かんせい しよめい
空欄を各自の発想で埋めて完成させる「テンプレート」があり、さらに書名
などいくつものしつもん こた ぶん できあ
質問に答えると文が出来上がる「ジェネレーター」というイ
ージーオーダー型もある。

ぶん か うつ み きやうし ちゆうい
文をネットから書き写したことが見つかると、教師に注意されることも、こ
せかい けいさん み いぬ ある ふう けんさく つづ
の世界では計算ずみと見える。“犬も歩けば”風に検索を続けていくと、コ
ピペがみつかった場合、み ばあい はんせいぶん で に ど
「反省文」のサイトに出くわす。「二度とこのような
ふしまつ おこな しき じゆんじよ か ことば か
不始末は行いません」式のサンプルもあって、「順序を変えたり、言葉を換
えたり、アレンジをして」はんせいぶん か わる おも
「反省文を書くようアドバイス。悪ふざけと思いつ
つも、いた つ おどろ なかりやく
その至れり尽くせりぶりに、ただ驚くばかりだ。(中略)

こども かんそうぶん さいてん きやうし ため できば ひやうか
子供の感想文とはいえ、採点する教師も試されている。出来栄えを評価

するだけでも大変なのに、ネットからのコピペかどうかを見定めるのは至難

の業に違いない。安易に「よくできました」と言えない先生たちも相当多い

らしく、ある大学教授がついに“コピペ発見ソフト”を考案した。学生の

レポートや論文が、ネット上の文章から書き写したものかどうかをチェ

ックするためのものという。デジタル化された文をこのソフトにかけると、

ネット上を走り回ってコピペチェックを行い、全文丸写しか部分コピペ

か、その割合90パーセントなどと判定してくれる。これさえあれば、チェッ

クの手間が大いに省ける。しかし、提出された文がコピペと判定された

場合、次に先生たちはその生徒をどう扱うかで、また試されることになる。

その先は、いうまでもなく、生徒たちの側で「コピペ発見ソフトを打ち破

る」サイトが生まれ、新たなイタチごっこが始まるに違いない。

大新書局『日本語能力試験 N2 快速掌握・読解』より